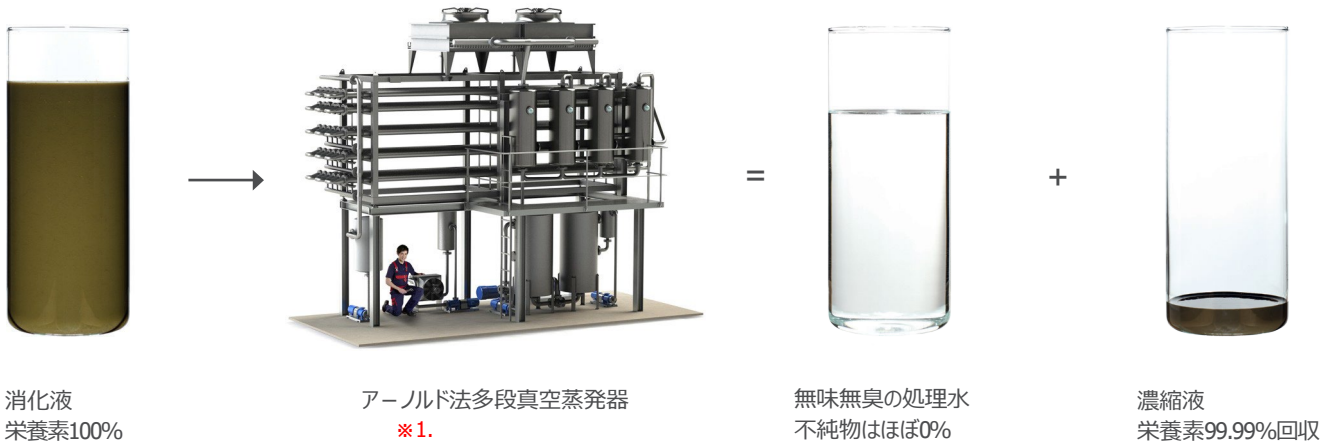


多段真空蒸発技術の導入

低温熱利用による消化液処理の課題解決と液肥の将来像



アーノルド法のメリット

- 消化液の減容化 → 約1/3から1/10 ※2.
- 濃縮液の肥料化 → 養分豊富な有機肥料として
- 設備（貯留槽）費の削減 省スペース化
- 人件費の削減
- CO2の削減 → 液肥利用における輸送費・散布費
- 排水処理設備、変動費の削減 → 処理水を放流する場合
- 環境問題の改善 → 臭気・土壌汚染

アーノルド法他プロセスに対する優位性

- 配管・設備の閉塞がないため、連続運転が可能
- 消化液が発泡しないため、消泡剤が不要
- 多段構成により、エネルギー消費が小さい N段として1/Nの消費量
- EU各国で多くの実績がある 日量数トンから300トンのプラントが稼働中

※1. 外観と規模は参考お客様の条件に合わせた個別設計が可能です。
※2. プラントの利用可能熱量、または消化液の仕様により異なります。



当社のBio-液肥化プロセス

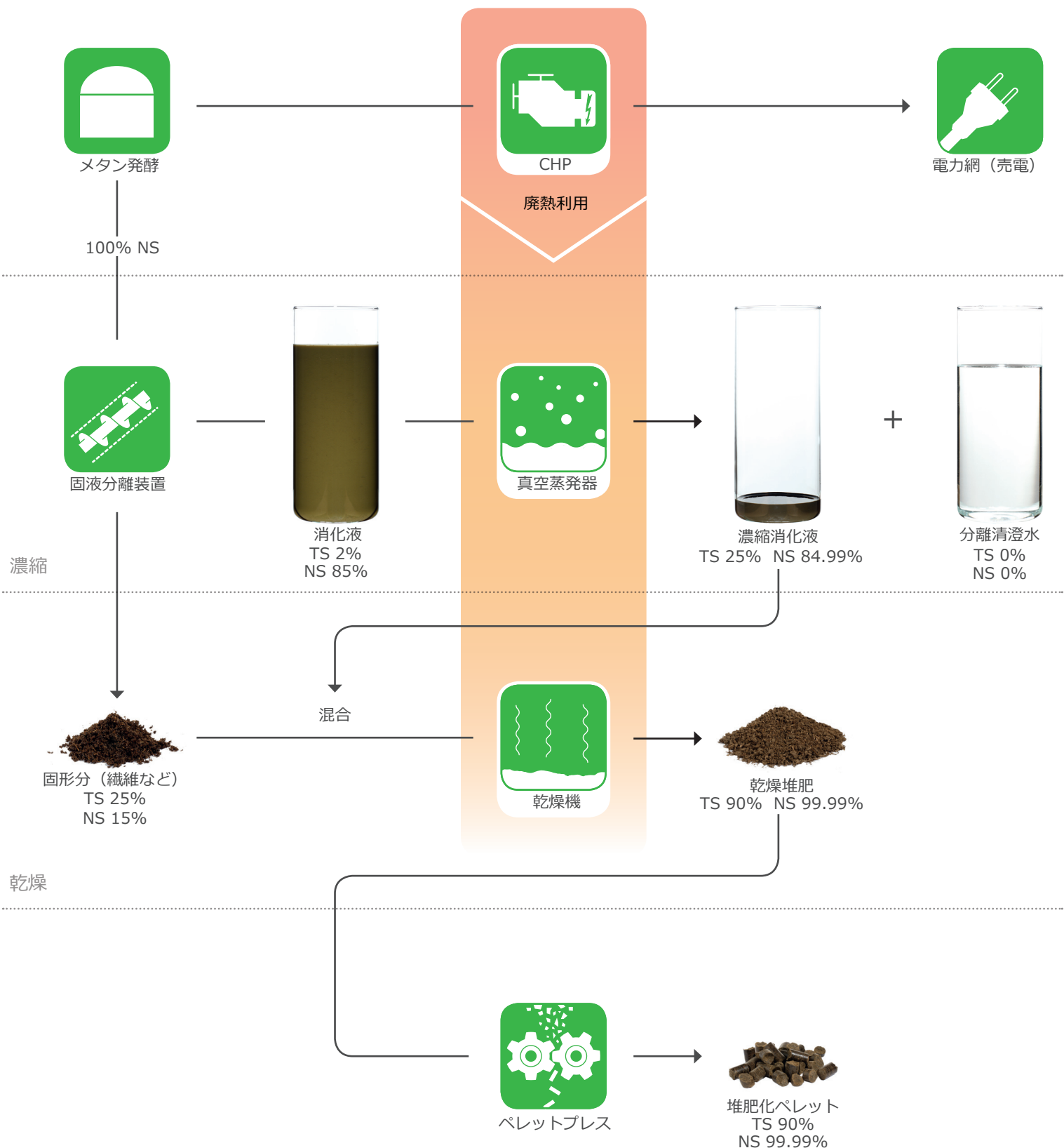
NSおよびTS バランス含む

※NS: 栄養素
TS: 固形分



高度水処理株式会社

バイオガス発電



ペレット化